

第4回チャレンジリーグ・チャンピオンシップ

競技および大会運営細則

- (1) 競技規則は2025バスケットボール競技規則を適用する。また、マンツーマン基準規則を適用する。
(コミッショナーの設置、罰則の適用はしない) 試合時間は、1クォーター8分の2クォーター制(第1・3クォーター扱い)とする。インターバル2分、試合間5分とし、タイムアウトは、各クォーター1回までとする。
- (2) エントリーは、コーチ1・Aコーチ1・マネージャー1・選手18の計21とする。なお、ベンチには体育館シューズで入り、服装等に留意すること。
- (3) 組み合わせ番号の若番チームが、淡色のユニフォームを着用し、ベンチはテーブルオフィシャルに向かって右側とする。ただし、第2試合以降のユニフォームは対戦チームの話し合いにより、変更してもよい。その際、ベンチの場所は交換しない。また、スコアシートは元の色の方に記載する。なお交換した旨を運営本部に連絡する。
- (4) ユニフォームは、番号など競技規則に準じたものを濃淡2色準備すること。選手番号は「0」「00」および「1」から「99」のいずれかを用いる。
- (5) ソックスは、すべてのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたものとする。また、ソックスは見える状態でなければならない。
- (6) アームスリーブや足のコンプレッションスリーブは、ユニフォームと同色か白色または黒色とする。
- (7) 選手の交代は、交代する選手自らテーブルオフィシャルに申し出て、交代席で待ち審判の合図により、中央よりコートに入ること。
- (8) テーブルオフィシャル・審判は、割り当てにより行う。
- (9) ファールの場合、番号がオフィシャルに確認できるように手をあげること。
- (10) ゲームが定刻に終了しない場合、次のゲームは前のゲーム終了5分後に開始する。
- (11) 上・下足の区別をしっかりとつけること。
- (12) 試合が定刻に終了しない場合、次のゲームは前試合終了の10分後に開始する。
- (13) 上・下足の区別をしっかりとつけること。各席とフロアはバスケットボールシューズでよいが、会場の玄関から外に出る場合は、必ず下足に履き替えること。(バスケットシューズで館外に出ることは禁止)
- (14) フロアでの水分補給は、必ずスクイズボトルまたは水筒の倒れてもこぼれにくい容器を利用すること。
- (15) 選手・大会役員以外は、フロアに入れない。
- (16) 更衣室の使用は、各チームで責任者のもと利用すること。
- (17) 貴重品の管理は、各自あるいはチームごとに行うこと。
- (18) 選手・保護者の昼食は、2階観覧席とする。ゴミ等は各チーム・個人で責任をもって持ち帰る。
- (19) 開場時間は、14日(土)・15日(日)の両日8:00とする。チーム代表者の打ち合わせは、ミーティングルーム3で8:45からとする。開場後は、第一試合のチームを中心に、速やかにコート準備を行うこと。最終日の片づけは、最終試合のチームを中心に行うこと。
- (20) 大会運営について主催者が決めた措置や指示に従い、大会に参加すること。